

## 2 重点整備地区の設定

### 2.1 重点整備地区の設定方法

- 重点整備地区とは、バリアフリー化を推進するため、バリアフリー化に係る事業を重点的かつ一体的に進める地域を指します。
- 重点整備地区は、市内9地域（都市計画マスタープランにおける地域区分）から、重点整備地区を設定する候補地域を選定し、その後、候補地域において具体的な重点整備地区を設定するという方法で選定しました。

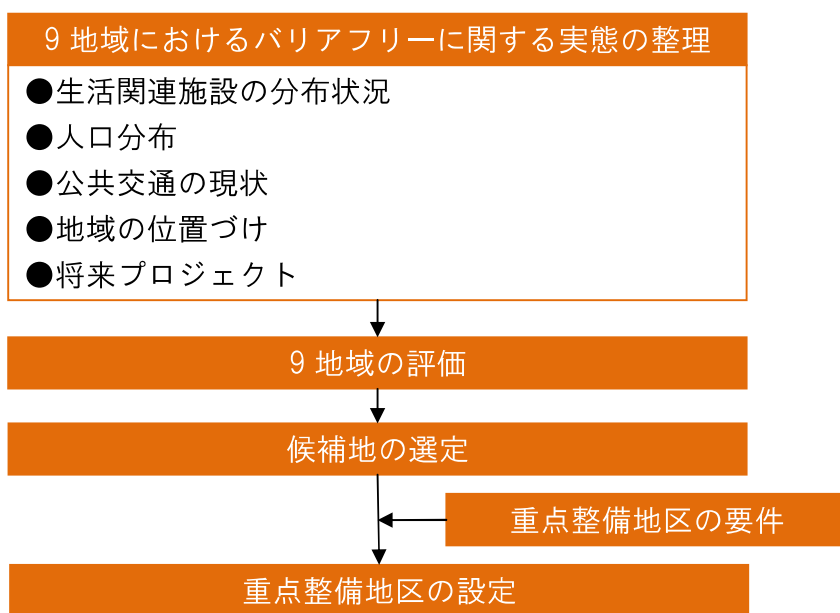


図-4.重点整備地区の設定方法

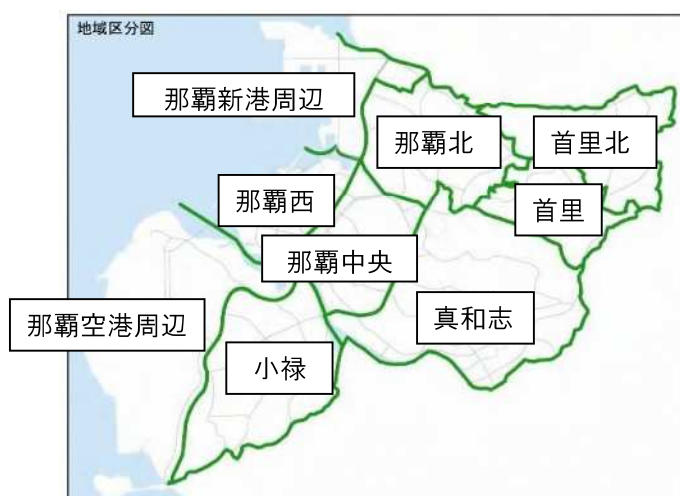


図-5.那覇市都市計画マスタープランにおける地域区分

## 2.2 地域の評価の考え方

●9 地域の評価は、ガイドラインに示されている評価指標例をもとに行いました。

表 1.重点整備地区候補地の優先度を検証するための評価指標

項目	参考データ	
①生活関連施設の分布状況		
②人口分布	常住人口、昼間人口	町丁目別人口・年齢別人口
	高齢者人口	
	障がい者人口	障害者手帳所持者
	従業者数※	
	観光客数※	
	外国人居住者数※	
③公共交通の現状	旅客施設利用者数	
	バス運行回数	
④地区の位置づけ	地区の位置づけ	上位関連計画による位置づけ
	将来の整備の方向性	
⑤将来プロジェクト	再開発事業、区画整理事業、駅前広場整備事業、その他面整備計画の有無	

出典：移動円滑化促進方針・バリアフリー基本方針作成に関するガイドライン

※はガイドラインに記載されていない那覇市独自の整理項目

## 2.3 各地域における評価項目ごとの状況の整理

### (1)生活関連施設の分布状況

- 那覇中央地域には、市役所、県庁などの行政機関や県立図書館、パレット市民劇場、ぶんかテンプス館等の文化施設など多くの施設が立地しています。
- 病院は、市内各地域に点在しています。
- 那覇北地域には各種施設が充実しています。
- 首里北地域には、県総合福祉センターをはじめ福祉関係の施設が集中しています。
- 那覇空港周辺地域には主要な生活関連施設はありません。

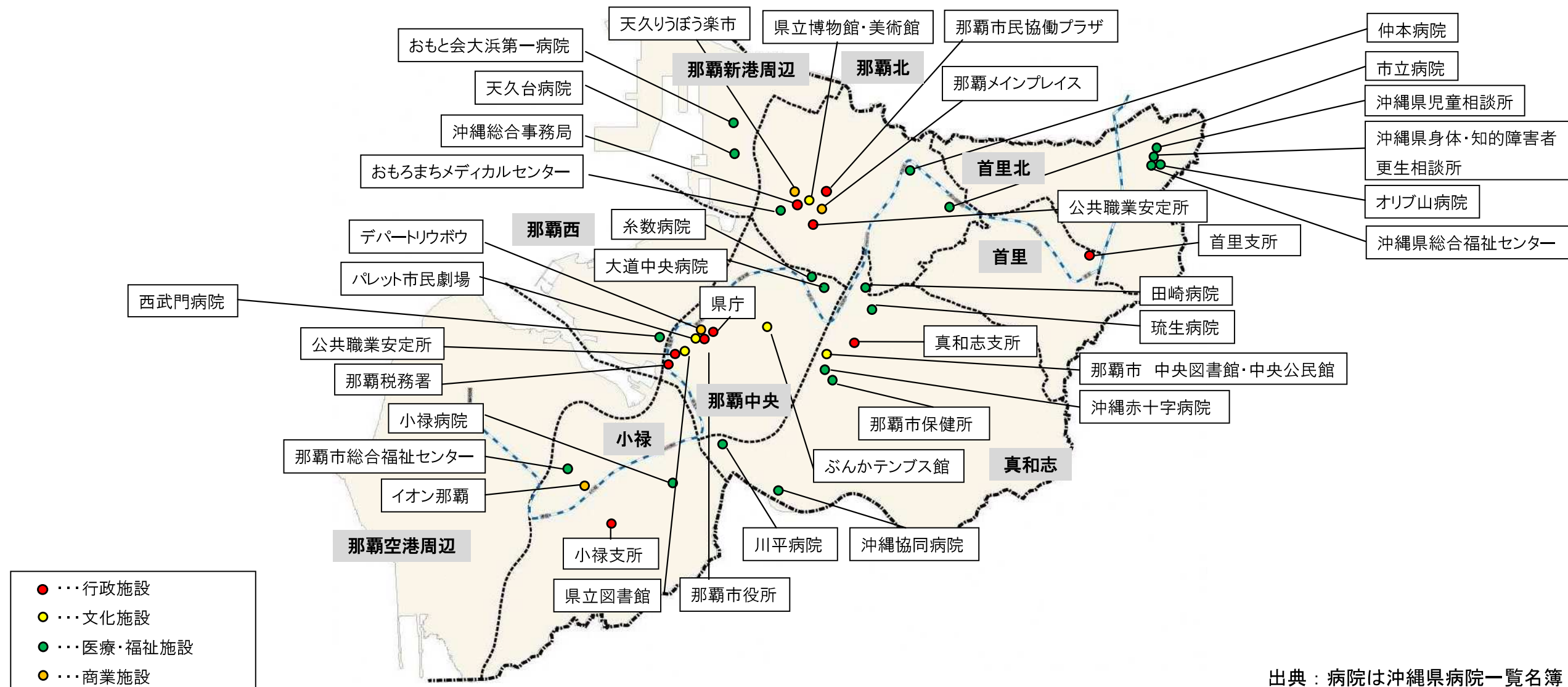


図-6.生活関連施設の分布状況

表 2.各地域における主要な生活関連施設の整備状況

地域名	施設名			
	行政施設	文化施設	医療・福祉施設	商業施設
那覇新港周辺			<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもと会大浜第一病院</li> <li>・天久台病院</li> </ul>	
那覇北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄総合事務局</li> <li>・那覇市民協働プラザ</li> <li>・公共職業安定所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立博物館・美術館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院</li> <li>・おもろまちメディカルセンター</li> <li>・仲本病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇メインプレイス</li> <li>・天久りうぼう楽市</li> </ul>
首里北			<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県総合福祉センター</li> <li>・沖縄県児童相談所</li> <li>・沖縄県身体・知的障害者更正相談所</li> <li>・オリブ山病院</li> </ul>	
首里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首里支所</li> </ul>			
真和志	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真和志支所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館</li> <li>・中央公民館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇市保健所</li> <li>・沖縄赤十字病院</li> <li>・沖縄協同病院</li> <li>・川平病院</li> <li>・田崎病院</li> <li>・琉生病院</li> </ul>	
那覇中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇市役所</li> <li>・県庁</li> <li>・公共職業安定所</li> <li>・那覇税務署</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立図書館</li> <li>・パレット市民劇場</li> <li>・ぶんかテンプス館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大道中央病院</li> <li>・系数病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デパートリウボウ</li> </ul>
那覇西			<ul style="list-style-type: none"> <li>・西武門病院</li> </ul>	
小禄	<ul style="list-style-type: none"> <li>小禄支所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇市総合福祉センター</li> <li>・小禄病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオン那覇</li> </ul>
那覇空港周辺				

## (2)人口分布

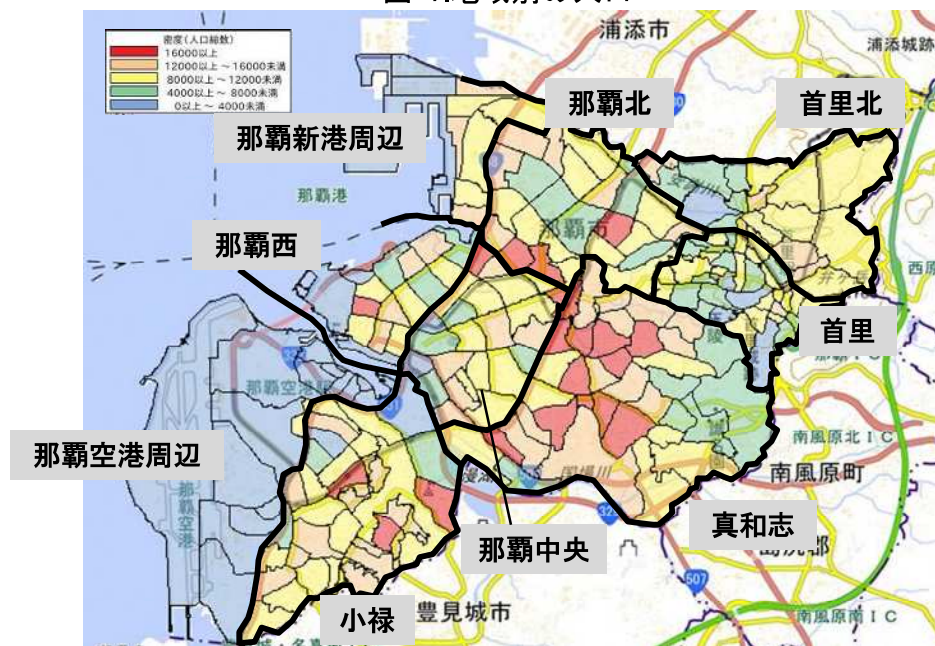
### 1)現在の人口分布

- 那覇市には令和元年9月現在で321,729人の方が住んでおり、地域別では真和志地域が約9万人と市全体の3割近くを占めています。
- その他では小禄地域が約5.5万人、那覇北地域が約4万人と多くなっています。
- 人口密度は、真和志地域の国道330号から東側のエリアに人口密度16,000人/km<sup>2</sup>以上の高密度な地域が広がっており、その他にも、那覇北地域や、小禄地域にも高密度な地域が点在しています。



データ:住民基本台帳(R1.9)

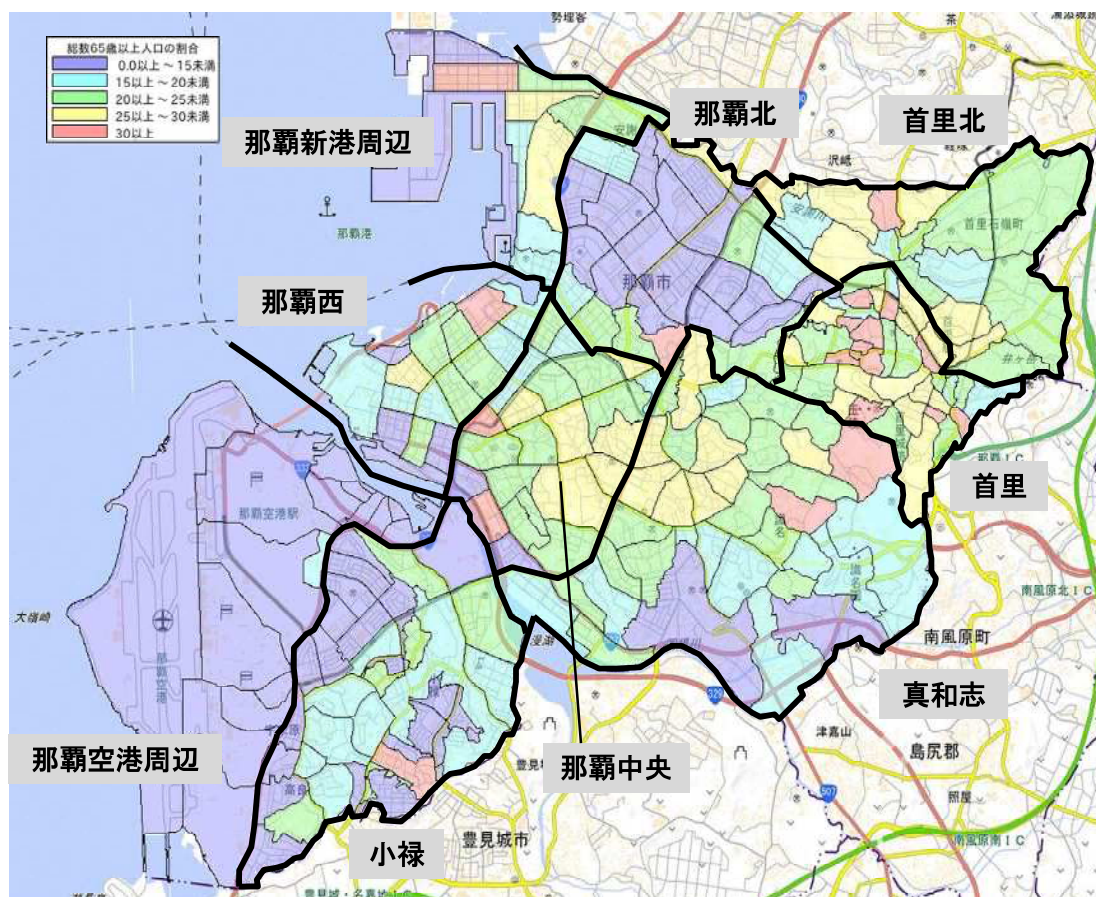
図-7.地域別の人口



出典:e-Statより作図(データはH27国勢調査)

図-8.那覇市の人口分布

- 高齢化率をしてみると、那覇北地域及び那覇空港周辺地域以外の各地域に高齢化率30%以上の地区が点在しています。
- 特に、首里地域や真和志地域に高齢化率が高い地区が多くなっています。

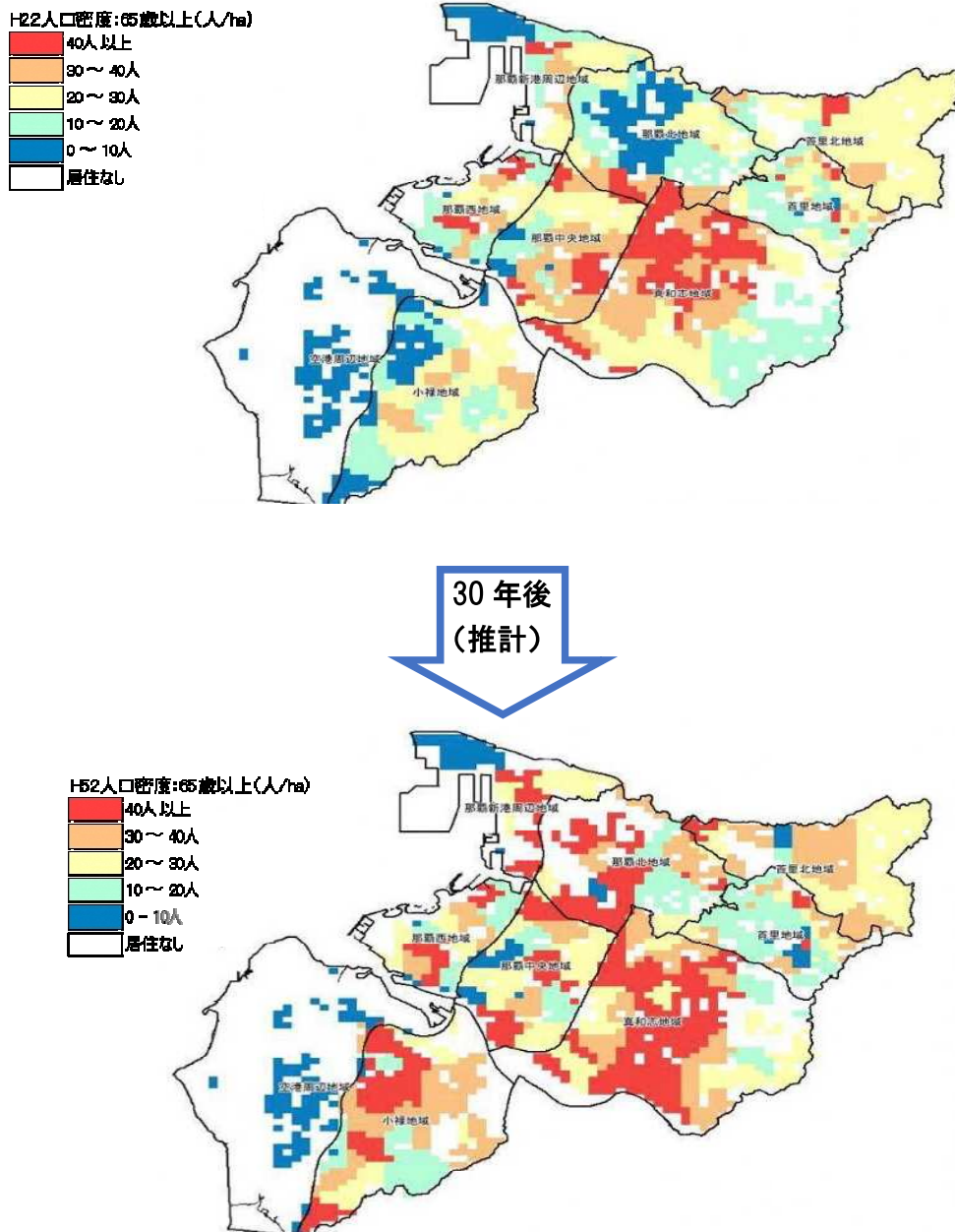


出典：e-Stat より作図(データは H27 国勢調査)

図-9.那覇市の高齢化率

## 2)将来の高齢人口

- 将来の65歳以上人口の人口密度の高齢化率をみると、2010年は真和志地域を中心に65歳以上の人口密度が高くなっていますが、30年後の2040年は、那覇北地域、小禄地域でも65歳以上の人口密度が高くなると推計されています。

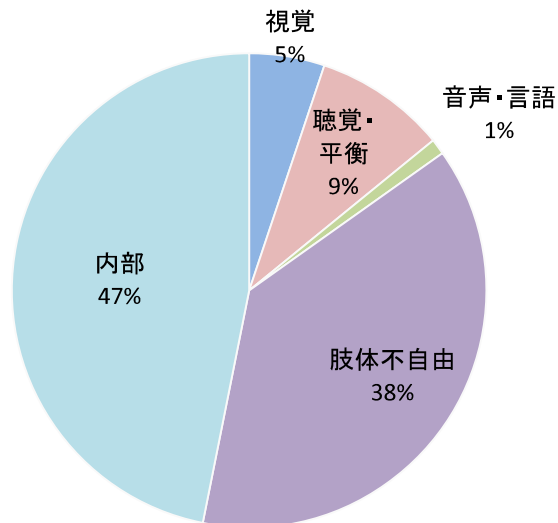


出典:G 空間情報センター

図-10.65歳以上の人口密度の変化(2010年→2040年)

### 3)障がい者人口

- 那覇市内では、平成30年3月時点で約14,400の方が身体障がい者手帳を所持しています。
- 身体障がいの割合としては、「内部」が47%、「肢体不自由」が38%と多く、「聴覚・平衡」9%、「視覚」5%、「音声・言語」1%の順となっています。



出典：H30 那覇市統計書（データは H30.3）

図-11.身体障がいの種別割合

表-3.身体障がい者手帳の所持状況

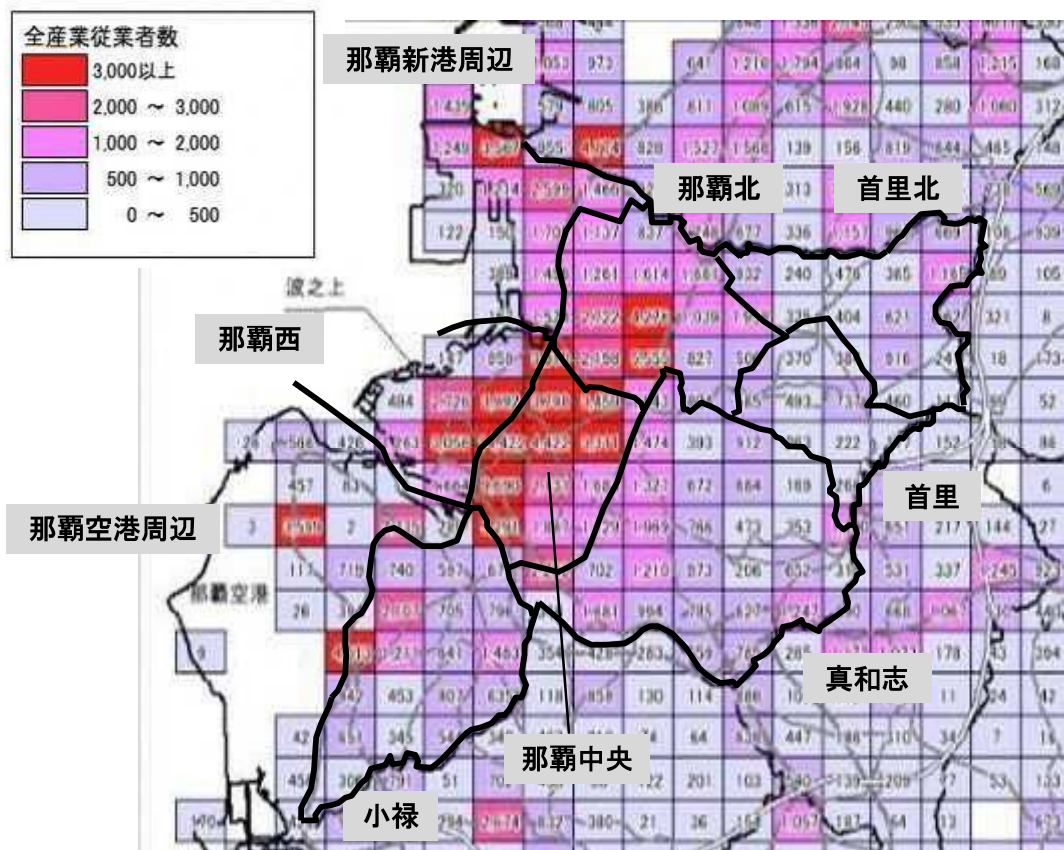
障がい種別	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
視覚	353	220	33	51	61	23	741
聴覚・平衡	65	295	130	312	7	488	1,297
音声・言語	20	18	75	43			156
肢体不自由	1,455	1,617	860	890	416	241	5,479
内部	2,603	140	1,918	2,104	1		6,766
計	4,496	2,290	3,016	3,400	485	752	14,439

出典：H30 那覇市統計書（データは H30.3）



#### 4)従業者数

- 那覇中央地域、那覇北地域は従業者数が多く、500mメッシュあたり3,000人を超えるエリアがあります。
- また、那覇新港周辺地域、那覇空港周辺地域でも局所的に従業者数が3,000人を超える箇所があります。

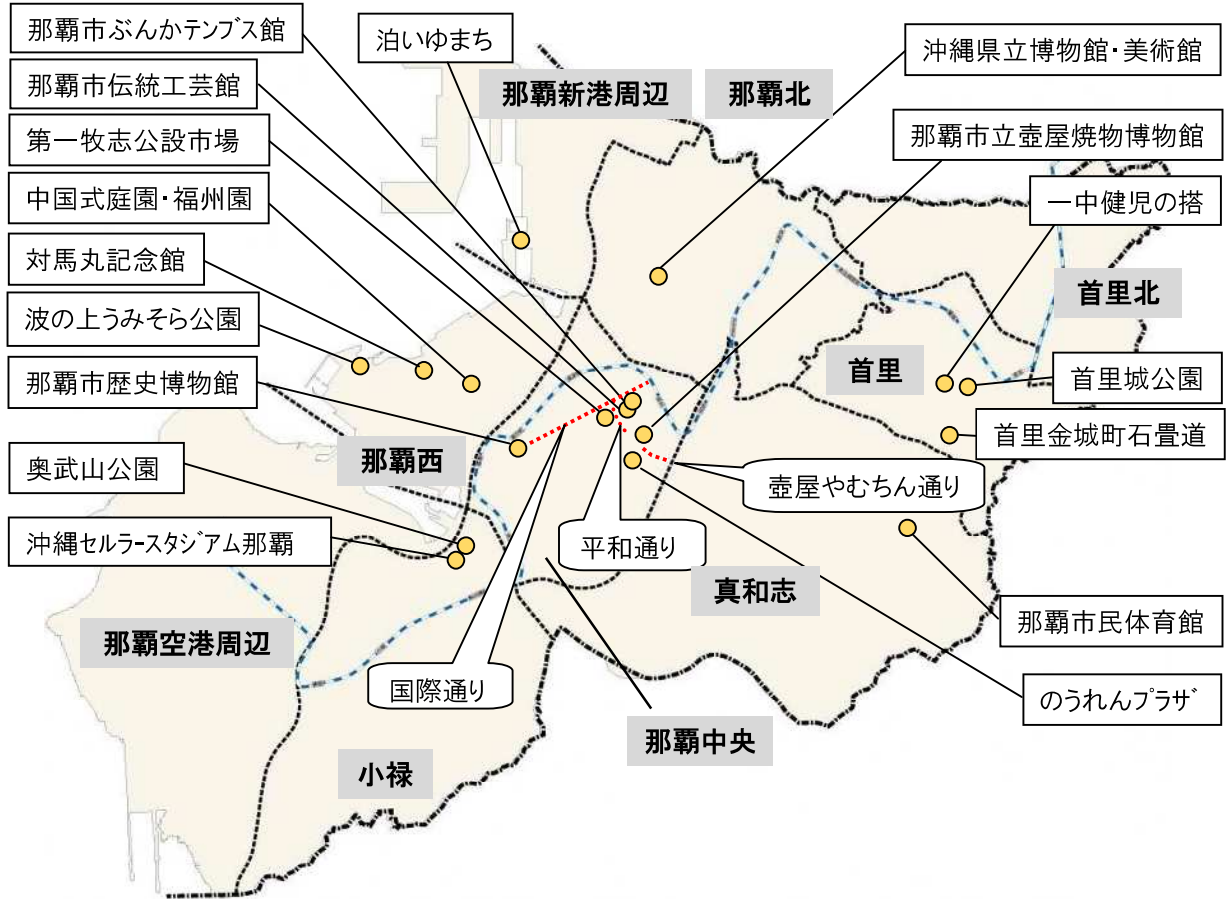


出典:H26 経済センサス基礎調査

図-12.500mメッシュあたりの従業者数

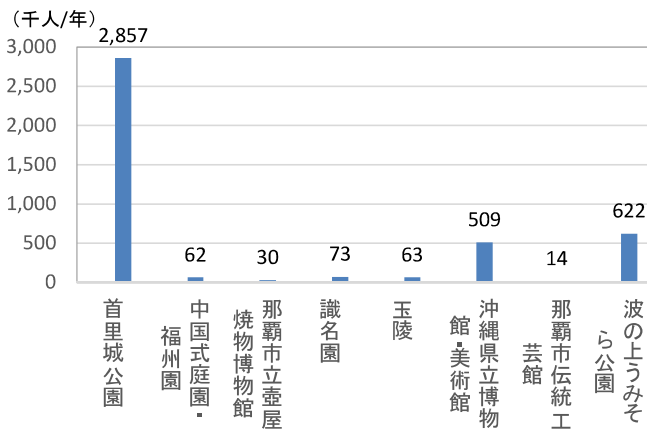
### 5)観光客数

●市内には国際通り、首里城公園、県立博物館・美術館、波の上みそら公園など集客力の高い文化・観光施設が点在しています。



出典:H30 那覇市の観光統計

図-13.主な観光地、文化・観光施設

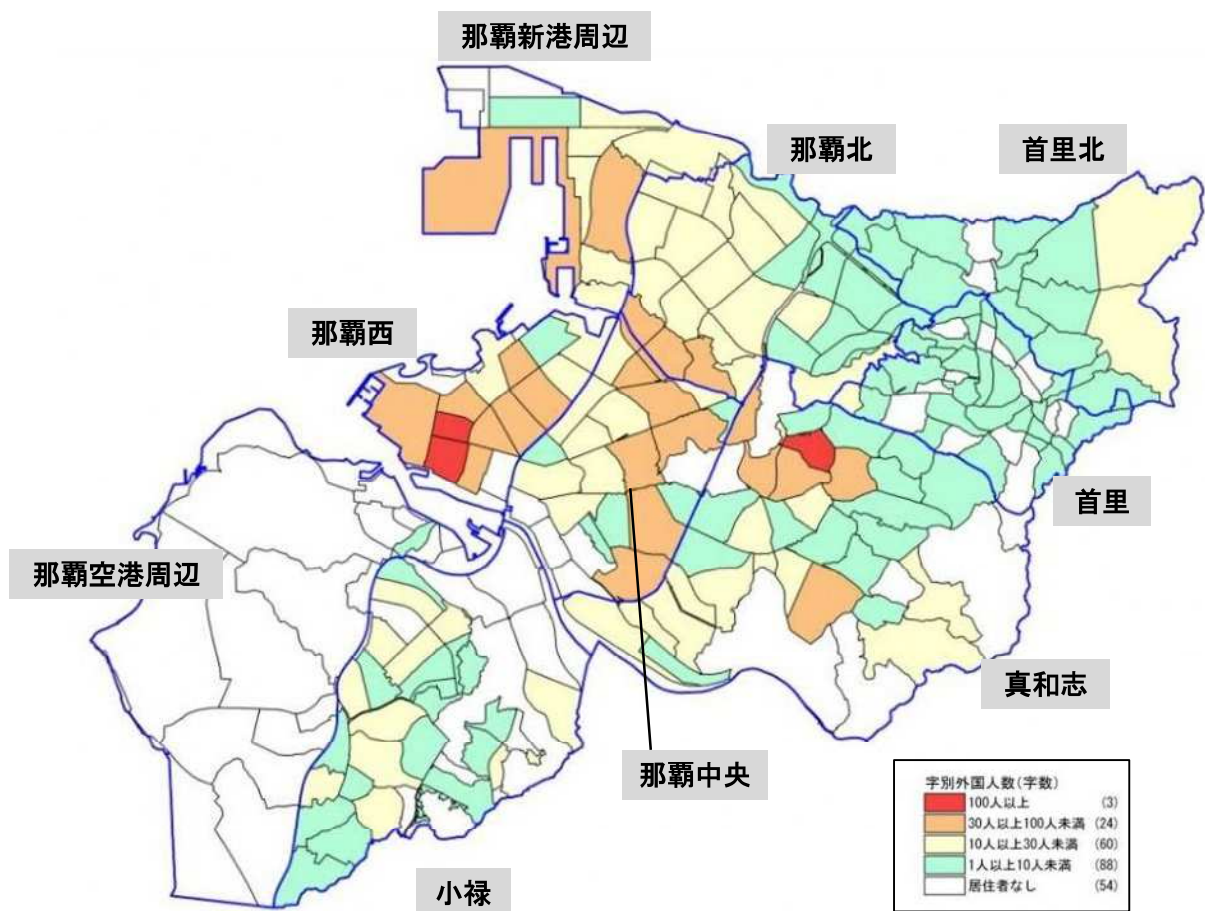


出典:H30 那覇市の観光統計

図-14.主な文化・観光施設の観光客数

## 6)外国人居住者

- 外国人居住者は、那覇西地域で多くなっており、那覇港周辺では100人以上居住しているエリアがあります。また、真和志地域でも三原周辺で居住者が多くなっていきます。
- 一方、首里北地域、首里地域、小禄地域、那覇空港周辺地域は外国人の居住が少なく、外国人が30人以上住んでいるエリアはありません。



出典:H26 経済センサス基礎調査

図-15.字別の外国人居住者数

### (3)公共交通の現状

#### 1)概要

- 那覇市の公共交通ネットワークは、那覇空港駅～首里駅～てだこ浦西駅方面に延びる沖縄都市モノレールと市内各地域を結ぶ路線バスにより構成されています。
- モノレール、路線バスに加え、タクシーも市内の主要な移動手段であり、那覇市には19社（タクシー・ハイヤー協会加盟会社、令和1年8月現在）のタクシー会社があります。県庁前駅、おもろまち駅などにはタクシー乗り場も整備されています。
- 市内には、沖縄本島と各地を結ぶ那覇空港、那覇港（那覇ふ頭、泊ふ頭（若狭バス含む）、新港ふ頭）の空港、港も整備されています。

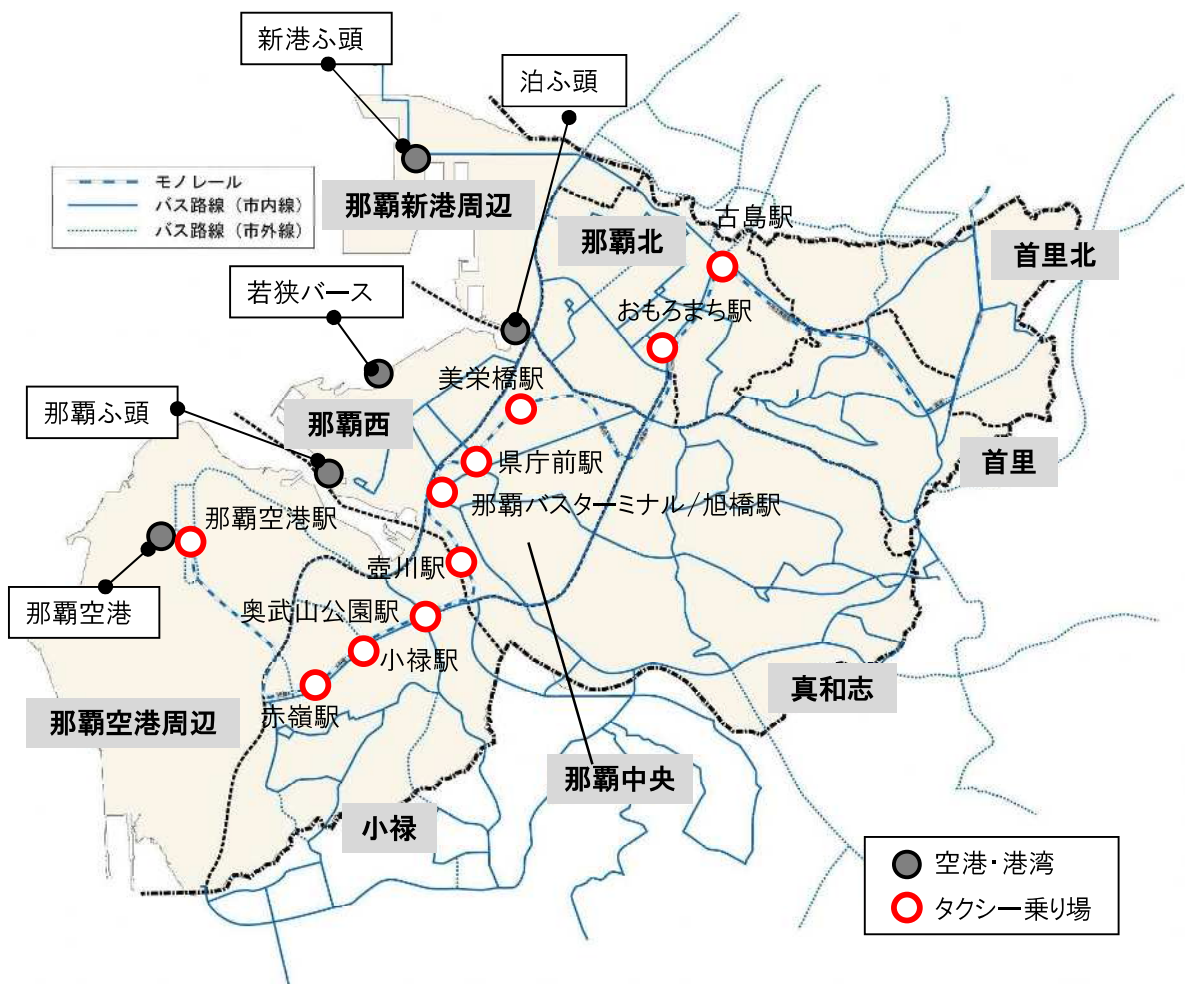
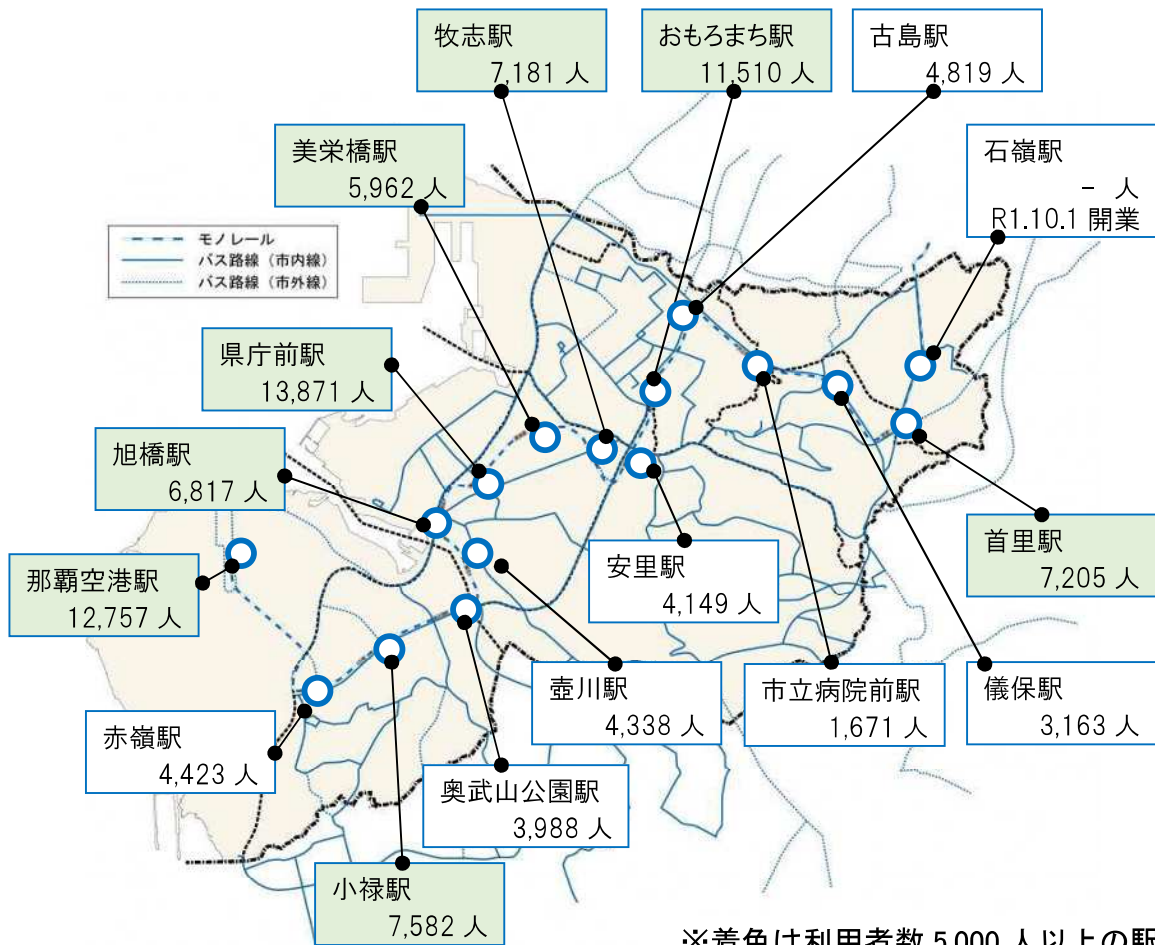


図-16.那覇市の公共交通ネットワーク

## 2)都市モノレールの利用状況

●沖縄都市モノレールの利用は、「県庁前駅」が 13,871 人/日、「那覇空港駅」が 12,757 人/日と約 13,000 人/日前後と非常に多く、その他では「おもろまち駅」が 11,510 人と利用者数が 1 万人/日を超えています。

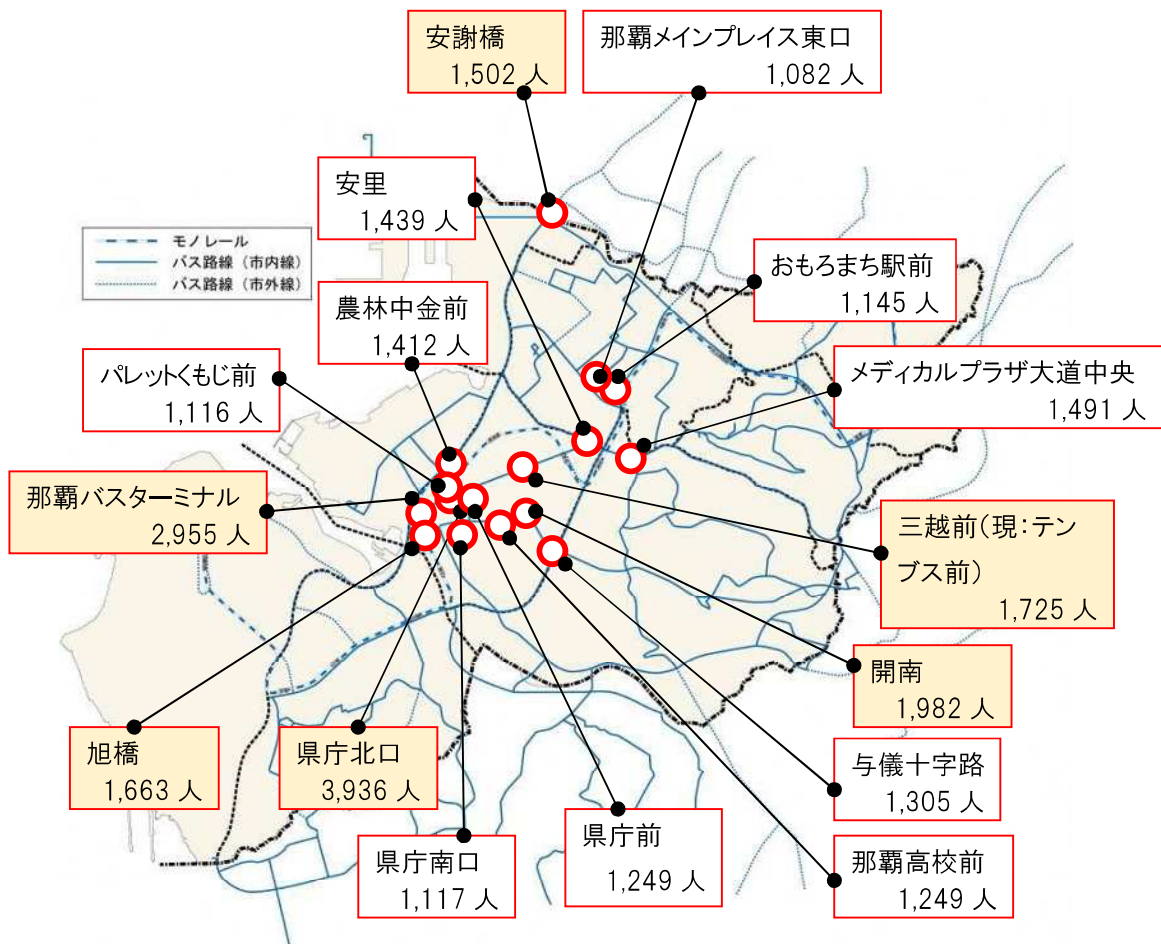


出典: 沖縄都市モノレール HP (データは H29 年度)

図-17.モノレール駅の利用者数

### 3)バス停利用者数

- 路線バスの利用は「県庁北口」、「那覇バスターミナル」（那覇バスターミナルは向かいの旭橋バス停も含む）の利用者数が約 4,000～4,500 人/日と多くなっています。
- 利用者数 1,000 人/日以上バス停は那覇中央地域に集中しており、その他では那覇北地域、真和志地域に点在しています。



※着色は利用者数 1,500 人以上のバス停

出典:平成 25 年度沖縄本島路線バス利用促進方策検討に向けた調査報告書(沖縄県)

図-18.バス停の利用者数

#### (4) 地区の位置づけ

- 那覇市交通基本計画・総合交通戦略において、那覇中央地域は施策として、バリアフリー基本構想を策定し、バリアフリーの施策の推進が位置づけられています。
- また、同計画・戦略では首里地域及び那覇中央地域は公共交通や徒歩による観光促進が施策として位置づけられています。
- 那覇市都市計画マスタープランにおいて、多くの福祉施設が立地している石嶺福祉地区を福祉の拠点として位置づけ、面的にバリアフリーのモデル地区としてまちづくりを推進していくとされています。

②主要施策
<ul style="list-style-type: none"><li>●モデル性の高い基幹的公共交通の導入<ul style="list-style-type: none"><li>・国際通りトランジットモールおよびバス専用・優先レーンの拡充</li></ul></li><li>●多様な移動手段の利用環境の向上・充実</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・一方通行の導入による徒歩や自転車空間の確保</li><li>・道路空間を活用した駐輪場（自転車・自動二輪車）の整備</li><li>・タクシー乗り場の適正配置</li><li>・バリアフリー基本構想を策定し、バリアフリーの施策を推進する</li><li>●歩行者優先ゾーンにおける段階的な自動車交通の抑制<ul style="list-style-type: none"><li>・フリンジパーキングの整備</li><li>・自動車の面的速度規制による安全性の確保</li><li>・ロードプライシングや完全規制に向けた調整・研究</li></ul></li><li>●まちづくりと連動した道路整備<ul style="list-style-type: none"><li>・トランジットモール拡充と合わせた地域の活動を支える生活道路の整備</li></ul></li><li>●新たな公共交通システム導入との連携</li></ul>

図-19.那覇市交通基本計画・総合交通戦略における那覇中央地域の主要施策

●那覇市都市景観条例にもとづき、市内では、「首里金城地区」、「龍潭通り沿線地区」、「壺屋地区」の3地区が都市景観形成地域に指定されています。

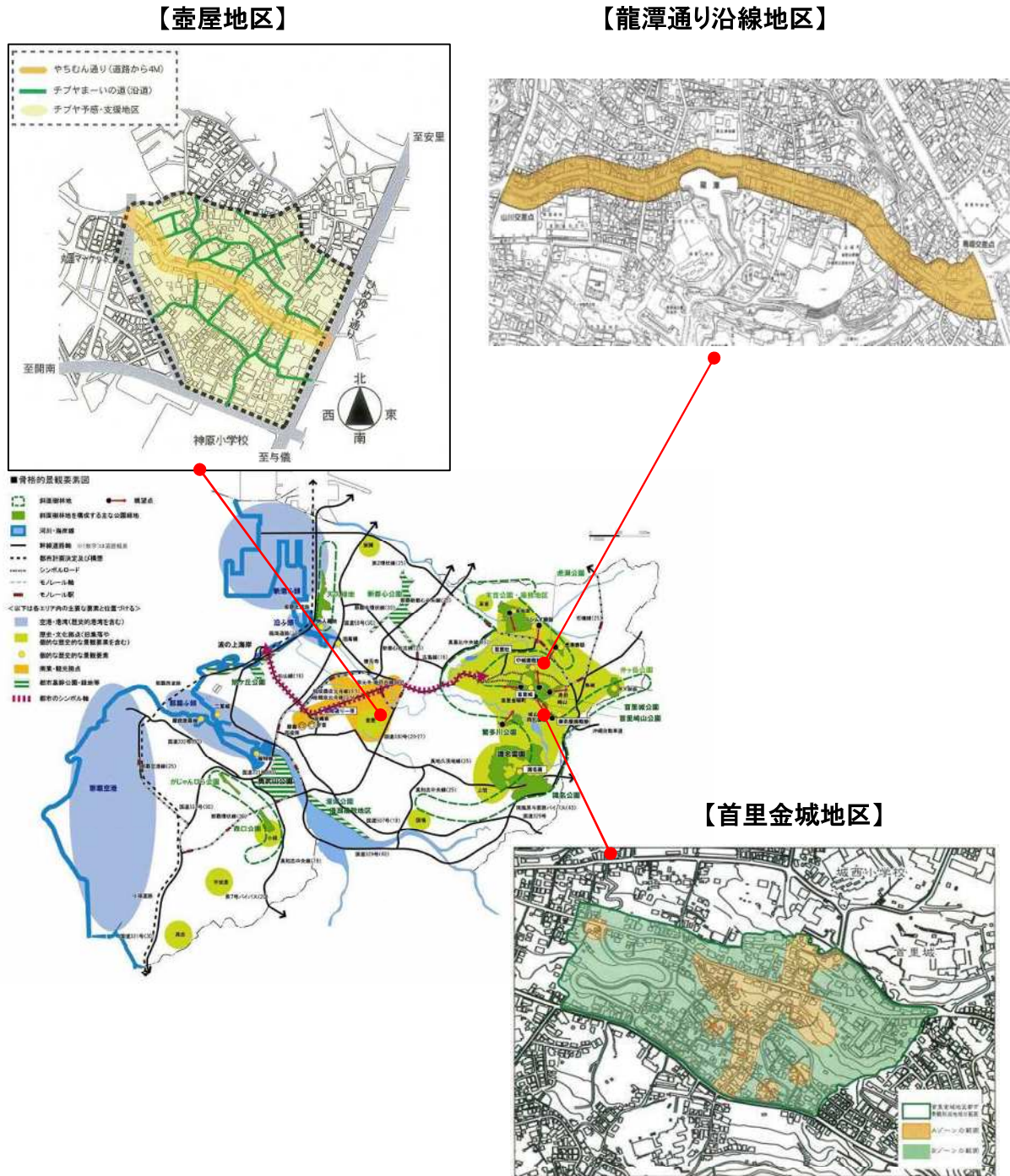


図-20.那覇市の都市景観形成地域



## (5) プロジェクト

- 那覇市内での施設整備は、那覇北地域の市立病院建替以外は、那覇中央地域で実施されており、「那覇文化芸術劇場なはーと」(久茂地小学校跡地)や、「第一牧志公設市場再整備事業」などの整備が進められています。
- また、道路事業が、首里北地域、首里地域、真和志地域、那覇中央地域、小禄地域などの各地で行われています。

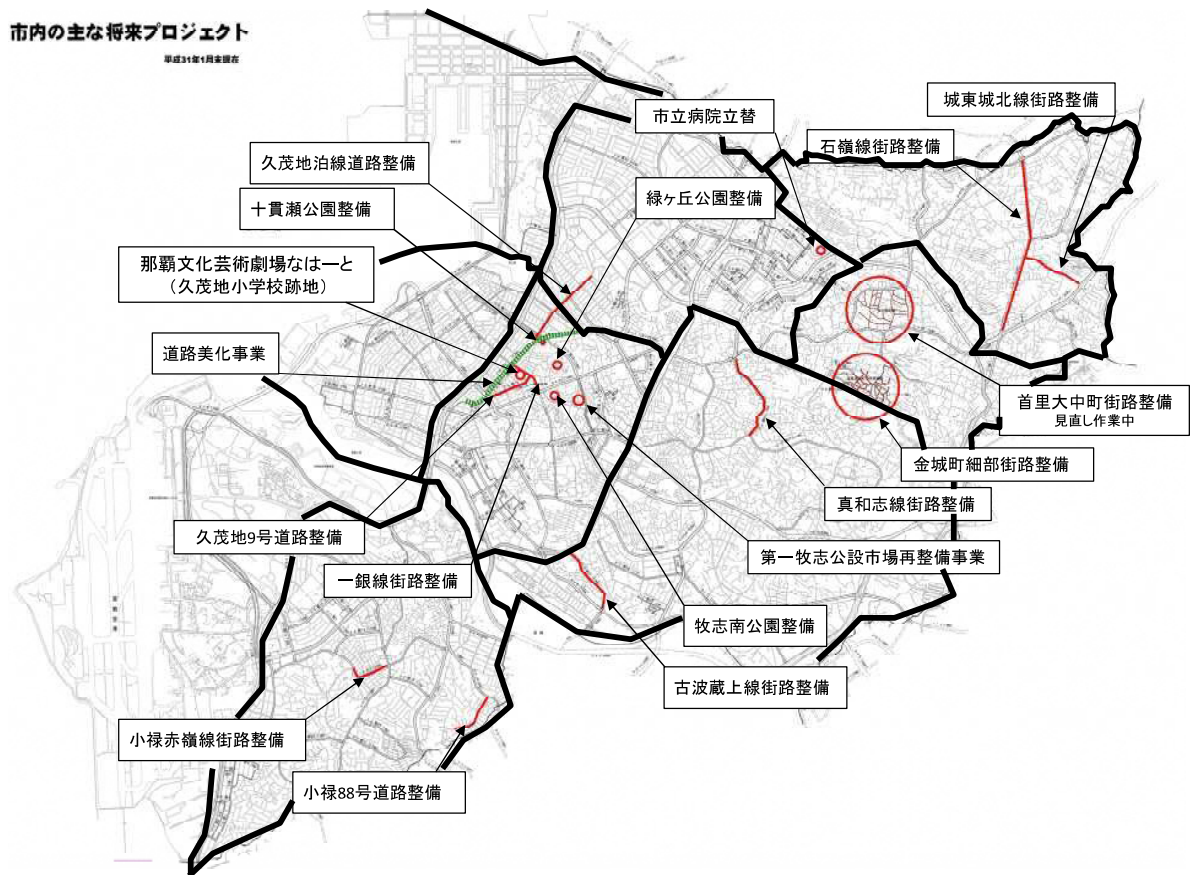


図-21.那覇市で進められている主なプロジェクト

## 2.4 重点整備地区候補地域の選定

2.3の結果より、那覇市役所をはじめとする多くの施設が立地し、公共交通の利用者も多く、交通基本計画・総合交通戦略で、バリアフリー基本構想の策定が施策として位置づけられている「那覇中央地域」を重点整備地区の候補地としました。

表- 4.重点整備地区候補地域の選定結果

地域名	評価結果										
	施設分布			人口分布				公共交通		上位計画	プロジェクト
	行政・文化施設	医療・福祉施設	商業施設	高齢化	労働者	観光客	外国人	モノレール	バス停		
那覇新港周辺	△	○	△	○	◎	△	○	△	○ 安謝橋	△	△
那覇北	◎ 沖縄総合事務局、県立博物館・美術館等	○	◎ 那覇メインプレイス	◎	◎	○ 博物館等	○	○ おもろまち駅	◎ おもろまち駅前、メインプレイス東口等	△	△
首里北	△	◎ 県総合福祉センター、県児童相談所等	△	△	△	△	△	△	△	◎ モデル地区	◎ 城東城北線、石嶺線
首里	○ 首里支所	○	△	△	△	◎ 首里城等	△	○ 首里駅	△	○ 景観形成地域	○ 金城町細街路整備
真和志	◎ 中央公民館、中央図書館	◎ 赤十字、沖縄協働、川平病院等	△	◎	△	△	◎	△	○ メディカル病院大道中央	△	○ 真和志線
那覇中央	◎ 市役所、県庁等	◎ 大道中央病院等	◎ パレットくもじ	○	◎	◎ 国際通り等	○	◎ 県庁前駅、牧志駅等	◎ 県庁北口、那覇バスターミナル等	◎ バリアフリー基本構想策定	◎ なはーと、一銀線
那覇西	△	○	△	○	○	◎ 若狭パース等	◎	△	△	△	△
小祿	○ 小祿支所	◎ 市総合福祉センター	◎ イオン那覇	◎	○	△	△	○ 小祿駅	△	△	△
那覇空港周辺	△	△	△	△	◎	◎ 那覇空港	△	○ 那覇空港駅	△	△	△

表- 5.重点整備地区候補地域選定の評価の視点

評価項目		◎	○	△
施設分布	行政・文化施設	行政、文化施設が複数ある。	支所がある。	左記以外
	医療・福祉施設	特に医療・福祉施設が集中している。	医療・福祉施設がある。	左記以外
	商業施設	10,000m <sup>2</sup> 以上の商業施設がある。	5,000m <sup>2</sup> 以上の商業施設がある。	左記以外
人口分布	高齢化	将来（2040年）に65歳以上が40人/ha以上となる地区が集中している。	将来（2040年）に65歳以上が40人/ha以上となる地区が点在している。	左記以外
	労働者	従業者数3,000人以上の地区がある	従業者数2,000人以上の地区がある	左記以外
	観光客	ホテルの立地や観光客が多い施設がある	1万人/年以上訪れる観光施設がある	左記以外
	外国人	100人以上居住している地域がある。	30人以上居住している地域がある。	左記以外
公共交通の現状	モノレール	利用者数5,000名以上の駅が複数ある。	利用者数5,000名以上の駅が一つある。	左記以外
	バス	利用者数1,000名以上のバス停が複数ある。	利用者数1,000名以上のバス停が一つある。	左記以外
地区の位置づけ	上位計画でバリアフリーの位置づけあり	上位計画等で歩行環境への特記あり。または都市シンボル軸や景観形成地区		左記以外
プロジェクト	将来プロジェクトが複数ある	将来の実現に向けて取組がみえる		左記以外

## 2.5 重点整備地区の設定

### (1) 重点整備地区のエリア選定の考え方

ガイドラインに示された重点整備地区設定の考え方を参考に設定しました。

表-6.ガイドラインにおける重点整備地区の要件

要件	具体的な内容
要件①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定旅客施設<sup>※1</sup>または特別特定建築物<sup>※2</sup>（官公庁施設、福祉施設等）が概ね3以上</li> <li>●生活関連施設が徒歩圏内に集積</li> <li>●面積が400ha未満</li> </ul>
要件②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区	●バリアフリー化事業が重点的・一体的に実施される地区
要件③バリアフリー化の事業を重点的・一体的に行うことが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者、障がい者等に交流と社会参加の機能</li> <li>●消費生活の場の提供する機能</li> <li>●勤労の場を提供する機能</li> </ul>
要件④境界の設定等	●町界・字界、道路、河川、鉄道等

※1 特定旅客施設:利用者数が1日平均3,000人以上ある駅・バス停等の旅客施設

※2 特別特定建築物:不特定かつ多数の人が利用する官公庁施設、福祉施設等

## (2) 重点整備地区のエリア設定

- 重点整備地区の要件を踏まえ、特定旅客施設である県庁前駅、旭橋駅を中心に、徒歩圏に市役所、パレットくもじ等の特別特定建築物がある旭橋～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲を重点整備地区として設定しました。

### 要件①徒歩圏での施設立地

- 那覇中央地域では、県庁前駅、旭橋駅、牧志駅が特定旅客施設に該当
  - 那覇市役所、県庁、那覇文化芸術劇場なは一と、パレットくもじ、大道中央病院などが特別特定建築物に該当
- 徒歩圏での特定旅客施設、特別特定建築物の集積状況を考えると、県庁前駅周辺での設定が考えられる。

### 要件②事業実施

- 那覇中央地域では、一銀通り、市道久茂地9号、市道久茂地泊線で道路整備事業が実施
  - 久茂地小学校跡地には那覇文化芸術劇場なは一とが建設中であり、緑ヶ丘公園では公園整備事業が実施されている。
- 那覇文化芸術劇場なは一と及びその周辺での道路整備を考慮すると、旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲での設定が考えられる。

### 要件③都市機能増進

- 旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一とのエリアは、那覇市の行政・商業・観光の中心的地域であり、当該エリアのバリアフリー化は高齢者・障がい者等の交流と社会参加の機会、消費生活の場、勤労の場の提供につながる。
- 旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲での設定が適切である。

### 要件④境界

- 当該地区には、幹線道路として国道58号、国道330号、国際通り、一銀通り、御成橋通りが、その他に久茂地川、緑ヶ丘公園が境界となりうる。
- 上記を境界にして、施設立地をみながら重点整備地区を設定。

- 重点整備地区の範囲は、旅客施設である県庁前駅から概ね半径 500m圏内で、旭橋駅、那覇バスターミナル、那覇市役所、沖縄県庁、県立図書館、パレットくもじ、那覇文化芸術劇場なはーと（建設中）、国際通りなど多くの施設が立地しているエリアを設定しました。
- 重点整備地区の面積は 0.34km<sup>2</sup> になります。

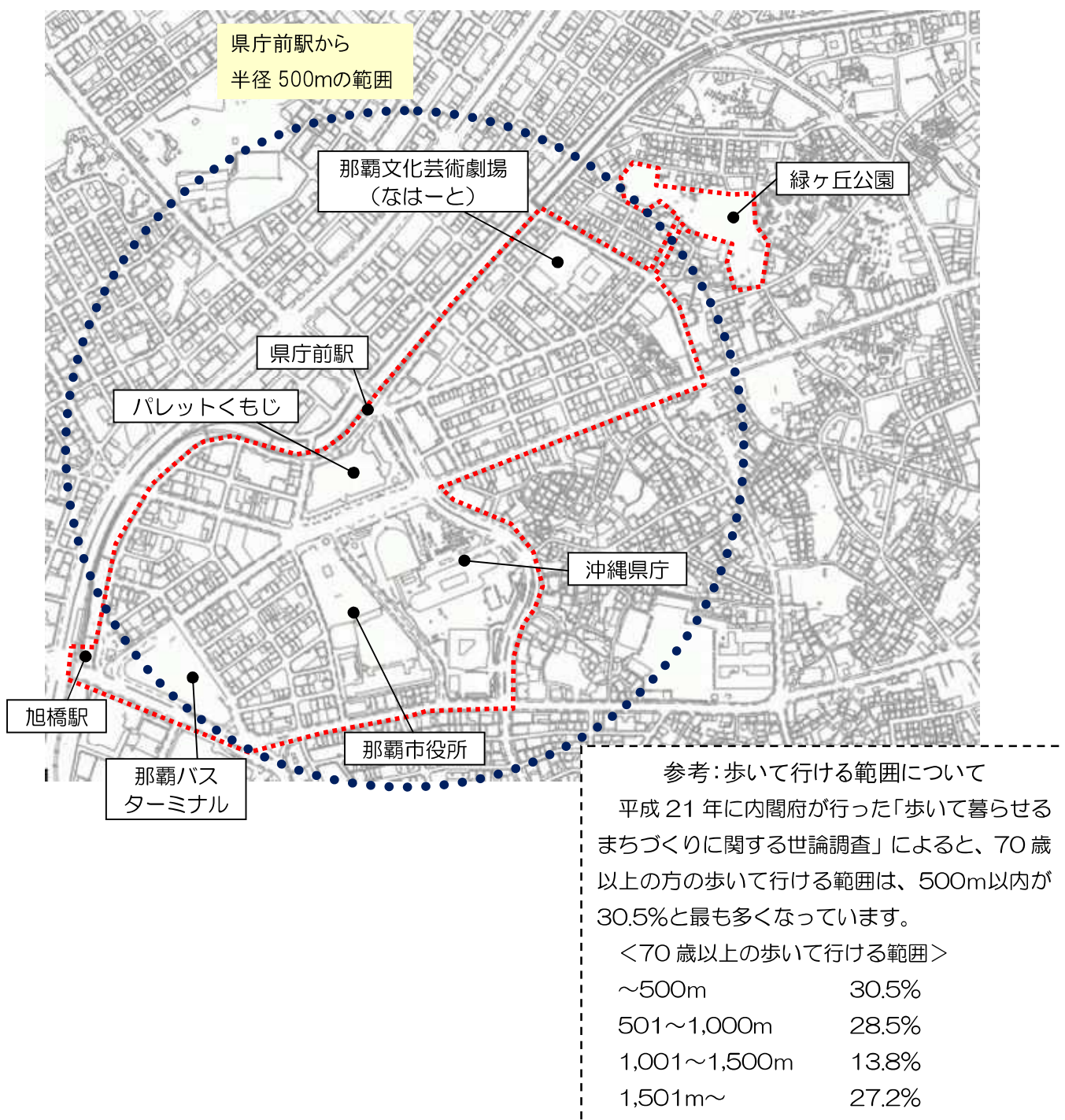


図-22.重点整備地区